

中部地区にてジムカーナ競技へ参加の皆様へ

JMRC 中部ジムカーナ部会

2016年 JMRC 中部ジムカーナ選手権にご参加頂きまして誠に有難うございます。

今年のシリーズ戦も中盤に差し掛かっており皆様の戦いも白熱したものとなっているかと思えます。

年初、東海戦では2月の第2戦にて、地方選手権及び北陸戦では開幕戦でアンケートにご協力頂き有難うございました。

そのご協力頂きましたアンケートの集計結果を別紙にて纏めましたのでご確認下さい。以後に簡単ではありますが参加者及び主催者の皆様の意見を纏めさせて頂きました。

-マフラー規制に関し-

全日本選手権と同じ考え方で運営するのが良いという意見が多数

-PNクラスタイヤ規定に関し-

全日本選手権と同じ考え方で運営するのが良いという意見が多数

-Nクラス及びSAクラスのクラス区分に関し-

全日本選手権と同じ考え方で運営するのが良いという意見が多数

ですがアンケートを実施した時期が2月だったと言う事も有りましてタイヤに関しては様々な状況の変化が有りました。またJAF2017年の全日本ジムカーナ選手権のクラス区分に関する公示が有りNクラスとSAクラスの統合が発表されました。この2点に関し部会に意見が寄せられており議論している状況です。

現状2017年に関して中部地方選手権は全日本選手権規定に則ってクラス区分及びタイヤ規定を実施する予定で有りますが、部会内でも参加者の皆様に再度ご意見を求めたいと要望が有る事から今一度皆様のご意見をお聞かせ頂きたいと考えております。

※添付資料1に現在までの流れを記載

(裏面に続く)

以下 2 点に関して皆様のご意見を頂戴したく宜しくお願い致します。

-PN クラスのタイヤ規定に関し-

- ①全日本規定と同様
- ②全日本規定より更にラベリング規定を厳しく縛るべき
- ③タイヤ規制自体の撤廃 (S タイヤ使用可)
- ④タイヤ銘柄規制 (現行の東海戦・北陸戦にて実施)
- ⑤その他

-N クラス及び SA クラスの区分に関し-

- ①全日本規定同様 (N クラスの廃止と SA クラスの 4 クラス化)
- ②中部独自で 2016 年と同じクラス区分け (N クラス、SA クラス共に存続)
- ③その他

以上 2 点に関し競技終了後意見交換会を実施させていただきます。(表彰式終了後 同会場にて)

皆様のご意見を反映し、中部のジムカーナをよりよいものに、より楽しいものにする為にご協力のほど宜しく
お願い致します。

また大会終了後も中部ジムカーナ部会選手代表以下 3 名にご意見頂ければ随時部会への意見反映させていただきますのでお気軽にお声掛けして頂けると幸いです

中部ジムカーナ選手権選手代表 小川国大

東海シリーズ選手代表 清本亨志

北陸シリーズ選手代表 加田充

・中部戦 S1500 参戦選手からの提案

ミドル戦のみ規制

→溝非対称パターンNG

→タイヤサイズラインナップ確保 (履ける人履けない人が発生しない為)

・小川さんからの提案

チャンピオン戦、ミドル戦両方

→エコタイヤ (ラベリング転がり抵抗A以上, ウェットグリップ b 以上、等)

・菅野部会長案

チャンピオン戦は全日本PNと同じ。

ミドル戦では摩耗が多いタイヤは規制してほしいとの意見もあるので、

「現行の銘柄規制」 + 「新規発売タイヤは次のシーズンまで使用禁止」

・アンケート結果

ラジアルタイヤのクラスは

チャンピオン戦「全日本と同じラベリング規制」

ミドル戦「現行の銘柄規制」

Sタイヤのクラスは、現行のままでOK

・参考

86/B R Z レース「クラブマンシリーズ」の銘柄指定が

使用できるタイヤ銘柄は、下記とする。各タイヤメーカー1銘柄指定の為、表内タイヤメーカーの他銘柄は使用不可。他タイヤメーカー銘柄の追加承認、下記使用可能タイヤに変更があった場合は、改めてT. R. A. より公示する。

※現行ラベリング規制と86レースの規制は純正装着タイヤやグリップの低いタイヤが使用出来なくなる事が有ります。